

日東ペDESTAL(SVPシリーズ)

チャンネルベース

[SVP35-5C・SVP35-8C・SVP35-11C・SVP35-14C]
[SVP50-8C・SVP50-11C・SVP50-14C]

取扱説明書

このたびは、日東ペDESTAL(チャンネルベース)をお買上げいただきまして、まことにありがとうございます。施工及び使用の前に必ずこの取扱説明書をすべて熟読し、正しく使用していただくようお願い致します。又、この取扱説明書は大切に保管してください。

安全上のご注意

この取扱説明書では、安全注意事項のランクを「高度の危険」、「危険」、「注意」として区分してあります。

! 高度の危険

取扱いを誤った場合に、極度に危険な状況が起こりえて、死亡又は重傷を受ける可能性が想定される場合。

◇ 危険

取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、死亡又は重傷を受ける可能性が想定される場合。

△ 注意

取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、中程度の傷害や軽傷を受ける可能性が想定される場合及び物的損害のみの発生が想定される場合。

なお、**△ 注意** に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載しているので、必ず守って下さい。

◇ 危険

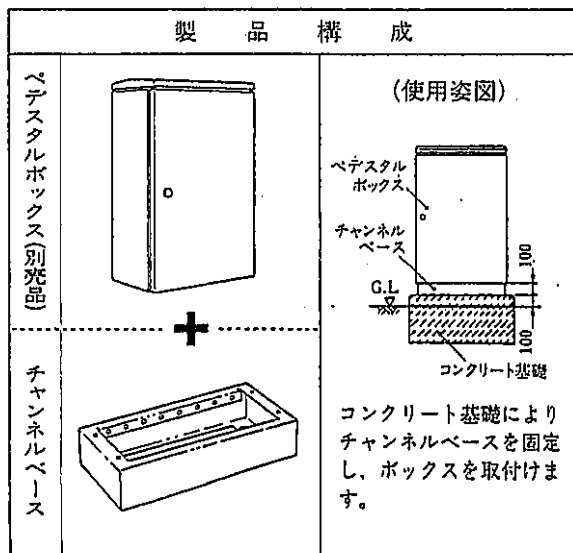
- ・日東ペDESTALは低圧専用ですので、高圧・特別高圧には、絶対、使用しないでください。
- ・ペDESTALの転倒防止の為、水はけの悪い場所、軟弱地、車両と接触する恐れのある場所等には、設置しないでください。

△ 注意

- ・使用環境等により部品の劣化等が発生いたします。
- ・落下、転倒、水の侵入等の発生の原因となりますので定期的に点検を行い、適宜部品交換してください。
- ・部品脱落の恐れがあります。配線工事完了時に全ての部品取付ネジを増し締めしてください。

(お願い)

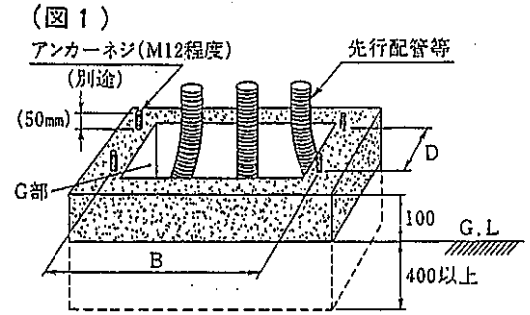
- ・ペDESTALボックス部は別売品となっております。下表に適合するペDESTALボックスをお求めの上、御使用ください。



チャンネルベース 品名記号	適合ペDESTALボックス
SVP35-5C	SVP (VP) 35-59E SVP (VP) 35-512E
SVP35-8C	SVP (VP) 35-89E SVP (VP) 35-812E SVP (VP) 35-815E
SVP35-11C	SVP (VP) 35-116E SVP (VP) 35-119E SVP (VP) 35-1112E SVP (VP) 35-1115E
SVP35-14C	SVP (VP) 35-146E SVP (VP) 35-149E SVP (VP) 35-1412E
SVP50-8C	SVP (VP) 50-89E SVP (VP) 50-812E SVP (VP) 50-815E
SVP50-11C	SVP (VP) 50-116E SVP (VP) 50-119E SVP (VP) 50-1112E SVP (VP) 50-1115E
SVP50-14C	SVP (VP) 50-146E SVP (VP) 50-149E SVP (VP) 50-1412E

チャンネルベース 標準施工手順

(1)あらかじめ配管を済せ、設置用のコンクリート基礎を作ります。コンクリート基礎の外形寸法は、チャンネルベース寸法(表1)より少し大きめとします。コンクリート基礎の高さは地表上100mm程度、地中埋設部深さは施工場所の状況に合わせて、基礎の強度が充分確保できる寸法としてください。(最低でも400mm以上)又、チャンネルベース取付面は水平としてください。G部は、開口状態又はコンクリート充てん状態のいずれも使用できます。(図1)

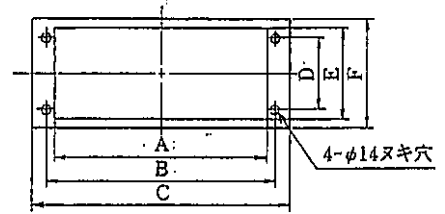


(表1) チャンネルベース下面寸法

⚠ 危険

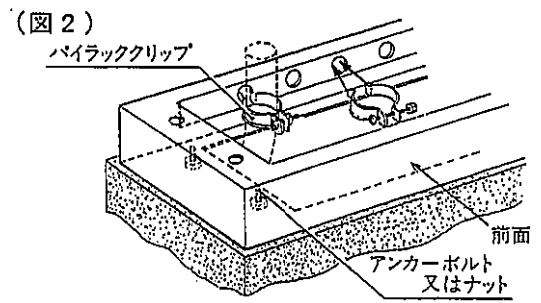
ペダスタルの転倒防止の為、上記コンクリート基礎の大きさを必ず確保してください。

(2)アンカーボルト又はアンカーナットの施設は(表1)を参考にして、確実に行ってください。(アンカーボルトの場合は、突出高さを50mm程度に留めておいてください。)(図1)



品名記号	A	B	C	D	E	F
SVP35-5C	360	390	480	220	280	330
SVP35-8C	660	690	780	220	280	330
SVP35-11C	960	990	1080	220	280	330
SVP35-14C	1260	1290	1380	220	280	330
SVP50-8C	660	690	780	370	430	480
SVP50-11C	960	990	1080	370	430	480
SVP50-14C	1260	1290	1380	370	430	480

(3)コンクリート基礎を充分養生させ、硬化した後、アンカーボルト又はナットでチャンネルベースを取付けます。(図2)チャンネルベースは(図2)矢印側が前面となります。



(4)ケーブル又は電線管の固定はチャンネルベース背面に設けてありますφ14ヌキ穴を利用して、市販のワイラッククリップ等で行います。(図2)

(5)ペダスタルボックス(別売品)の設置は付属の取扱説明書に従ってください。(図3)

